

# 第47回 全日本都市対抗テニス大会結果報告

会場：大石緑地スポーツ村テニスコート 滋賀県大津市大石淀一丁目3番32号（砂入り人工芝コート24面）



**第**47回全日本都市対抗テニス大会が7月18日～21日に滋賀県大津市「大石緑地スポーツ村テニスコート」で開催されました。日本各地から32チームが出場し、札幌市チームは第6シードでの出場です。

選手は札幌から社会人8名と、ふるさと選手でリコー(株)の齋藤聖真選手と、ハワイパシフィック大学の小笠原陸選手、アーカンソー中央大学の宮川このみ選手の11名です。八木会長、山田監督と選手11名と札幌から駆けつけていただいた応援団2名の総勢15名で、北海道第2代表「札幌市チーム」一丸となり戦ってきました。

会場の大石緑地スポーツ村テニスコートは、砂入り人工芝24面あり、来年滋賀国体が開催されるコートです。

天候は晴天に恵まれたのは良かったのですが、連日熱中症予防

のためのWBGT（暑さ指数）が嚴重警戒指数を超えるほどの、最高気温37度の猛暑でした。



協会旗、応援旗を張る選手たち

大会初日、大会2日目ともにWBGTが嚴重警戒指数をオーバーしたため、練習及び試合中に大会本部からゲーム中断の指示がありました。熱中症の危険がある猛暑の中での試合でしたが、札幌から駆けつけて頂いた応援団の梅林様、奥田様からスポーツ飲料等の差し入れを沢山いただき、おかげ様で一人も体調を崩す選手はいませんでした。

**大**会2日目19日（金）1回戦の相手は東海地区第2代表の四日市市です。一般女子山下ちなみ・宮川このみは、初めて組むペアでしたが、二人とも実力を十分発揮してプレーしました。途中競り合ったシーンもありましたが、山下選手の正確なストロークとロブ、そして宮川選手の力強い各ショットを連発しまして、最後は押し切って8-5で勝利しました。



本戦第一試合 女子ダブルス 勝利

一般男子齋藤聖真・合田健人は、昨年も組んでいるのでコンビネーションが良く、始めはシーソーゲームでしたが、中盤ミスが重なり、最後は相手に逃げ切れ3-8で負けました。

ベテラン1部竹本光身・山崎遊馬は、何度かペアを組んでいる強みもあり、良いムードでゲームに入ったのですが、2ゲーム目に竹本選手が左足に違和感を感じました。竹本選手、山崎選手、監督の3人で対応を検討し、竹本選手は無理しない動きで、プレーを続行することにしました。動けない竹本選手でしたが、近くにきた球はしっかり返球して、山崎選手は積極的にコートを前後左右動き回り、息をのむシーソーゲームを展開して、最後は逆転して9-7で勝利しました。

ベテラン女子遠藤ゆかり・大浦明子は、両選手とも実力を十分に発揮できず、接戦しましたが5-8で負けました。ベテラン2部平井正・鈴木寛典は、昨年も組んでいるので息が合い、最初はポイントを重ねましたが、中盤に離されてしまい、結果2-8で負けました。

対四日市市とは、対戦成績2-3となりましたので、男女のシングルスに勝敗を委ねることとなりました。

女子シングルス宮川このみは、最初から両者がつぶり四つでシーソーゲームを繰り返し、どちらが勝ってもおかしくないゲーム内容でしたが、宮川の方が力強いストロークとソフトなタッチのショットで相手を上回り、最後は8-6で勝利をもぎ取りました。これで対戦成績3-3です。勝利の行方は男子シングルスに委ねられました。

男子シングルス小笠原陸は、初めての都市対抗出場ということもあり、最初緊張していたが、切れの良いバックハンドのスライスでテンポ良くミスなく返球し、一進一退の様相を呈していたが、中盤から押し込まれるシーンが出てきてミスも多くなり、なんとか防戦していたが、実力を十分に発揮する前に4-8で負けました。

## vs. 四日市市（1回戦）

* 会場 大石緑地スポーツ村テニスコート		種別		本戦		1回戦	
選手番号	都市名	No	トータルスコア				選手番号
			4	3	D	2	
			15		16		
			四日市市		札幌市		
			4	3	D	2	3
			スコア		スコア		
1	一般	上江瀧 桃花	×	5	:	8	宮川 このみ
2	女子複	義基 慧	×		:		山下 ちなみ
1	一般	室井 卓海	○	8	:	3	齋藤 聖真
2	男子複	長谷川 大豪	○		:		合田 健人
1	ベテラン1部	松葉 俊司	×	7	:	9	竹本 光身
2	男子複	岡田 雅二	×		:		山崎 遊馬
1	ベテラン2部	重丸 賀子	○	8	:	5	遠藤 ゆかり
2	女子複	木下 真優子	○		:		大浦 明子
1	ベテラン2部	伊藤 公一	○	8	:	2	平井 正
2	男子複	岸田 尚二	○		:		鈴木 寛典
1	一般	上江瀧 桃花	×	6	:	8	宮川 このみ
2	一般	長谷川 大豪	○	8	:	4	小笠原 陸





本戦女子シングル 勝利



本戦45男子 勝利

**対** 戦成績3-4となり本戦敗北のため、コンソレーションに回ります。相手は地元大津市です。夕方16時を過ぎたにもかかわらず、WBGTが嚴重警戒指数をオーバーしたため、45分間の中断を経て試合開始となりました。

一般女子山下ちなみ・宮川このみは、ペアとして2試合目で息も合ってきて、あと一歩というところまできましたが、6-8で惜敗しました。

一般男子齋藤聖真・小笠原陸は、初めてのペアでしたが二人とも実力を十分に発揮して、サービスゲームとリターンゲームともにテンポ良いプレーで相手を圧倒し、8-1で快勝しました。

ベテラン1部竹本光身・山崎遊馬は、竹本の足の故障により棄権しました。

ベテラン女子遠藤ゆかり・大浦明子は、四日市市戦よりも積極的に攻めましたが、対戦相手の方が一枚上手で、善戦しましたが4-8で負けました。

ベテラン2部平井正・鈴木寛典は、得意の粘りあるあるプレーを封印されてしまい、3-8で負けました。

シングルス男子合田健人は3-2リードでしたが、対戦成績1-4で敗北が決定しました。

一般男女選手5名、ベテラン男女選手6名は、気温37度の猛暑でコンディションが悪い中、本当に力の限り精一杯プレーしてくれました。また、応援団の方々も炎天下のなかで声を枯らしながら応援していただきました。

札幌市チーム一丸となって勝利に向かって戦いましたが、結果としてここ数年のなかで一番芳しくない成績でした。札幌市チームの「本戦ベスト4以上、コンソレに回った場合は優勝」という目標には全然手が届きませんでした。昨年の佐賀大会ではベスト8第5位でしたので、「今回こそはベスト4」と意気揚々滋賀に乗り込みましたが、いとも簡単にはじき返されました。

来年2025年大会は、北海道の隣青森県で開催されます。今回負けた悔しさを糧にして、1年間練習を積みたいと思います。



会長・応援団の方々

**最** 後になりますが、現地で指示、サポートして頂きました八木会長、現地まで応援に来ていただきました梅林様、奥田様、札幌からメールやラインで応援メッセージを送ってくれました佐藤副会長、蒲生理事長、山崎副理事長、また応援していただいた札幌テニス協会会員の方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

山田 直樹

<都市対抗 札幌市チーム監督>=文

vs. 大津市 (コンソレ1回戦)

No. 13		トータルスコア		No. 16	
都市	名	大津市	4	4 D 1 1	札幌市
選手番号	種目	選手名	スコア	スコア	選手名
1	一般	中村 香澄	○	8 : 6	宮川 このみ
2	女子複	塚原 彩日	×		山下 ちなみ
1	一般	小林 一成	×	1 : 8	齋藤 聖真
2	男子複	井口 瑛心	○		小笠原 陸
1	ベテラン1部	栗田 広樹	○	W.O.	竹本 光身
2	男子複	北口 和雅	×		山崎 遊馬
1	ベテラン	中村 有美子	○	8 : 4	遠藤 ゆかり
2	女子複	水谷 陽子	×		大浦 明子
1	ベテラン2部	本持 善弘	○	8 : 3	平井 正
2	男子複	三代 康成	×		鈴木 寛典
1	一般	中村 香澄			宮川 このみ
1	一般	小林 一成		2 : 3	合田 健人
	男子単			打切り	



コンソレ男子ダブルス 勝利



本戦女子ダブルス 試合前



45女子



SAPPORO TENNIS ASSOCIATION  
札幌テニス協会